

住宅向け RHI 再生可能熱インセンティブの現状

ロンドン便りその125でお伝えした、事業所向け RHI (Renewable Heat Incentive)再生可能熱インセンティブの現状に続いて、住宅向け RHI 再生可能熱インセンティブ (以下、住宅向け RHI) の現状についてお伝えします。

住宅向け RHI は、2014年4月から導入され、4年目に入りました。管掌官庁の DBEIS (Department for Business, Energy & Industrial Strategy) のホームページに現状のデータが掲載されていましたので、ご紹介いたします。

1. 住宅向け RHI インセンティブ表(2017年6月現在)

システム名	再生可能熱エネルギーの種類	インセンティブ(p/Kwth)
空気熱ヒートポンプ	空気熱	7.63 (11円)
バイオマスボイラー	木質バイオマス	4.28 (6円)
地熱ヒートポンプ	地熱	19.64 (27円)
太陽熱温水器	太陽熱	20.06 (28円)

為替レート ¥140/£

地熱ヒートポンプと太陽熱温水器に19ペンスを超える最高額のインセンティブを付けて、一層の普及促進を図ろうとする意図が見て取れます。

2. 住宅向け RHI の熱エネルギー別の申し込み件数と認定件数、(2014/4~2017/5)

再生可能熱エネルギー	申し込み件数	認定件数	構成比 (%)
空気熱ヒートポンプ	29,444	27,210	48.4
バイオマスボイラー	12,794	12,374	22.1
地熱ヒートポンプ	8,764	8,287	14.8
太陽熱温水器	9,235	8,229	14.7
合計	60,237	56,100	100

再生可能熱エネルギー別では空気熱ヒートポンプが約半数を占め、続いてバイオマスボイラー、地熱ヒートポンプ、太陽熱温水器となっています。日本では地下100メートルのボーリング費用が高額で少数派の地熱ヒートポンプが、英国では既に8,000件を超えているのは驚きです。申し込み件数と認定件数の差異は、認定までに時間がかかるのと、認定基準に合致しない理由での却下件数も含まれていると思われます。

3. 住宅向け RHI の地域別、再生可能熱エネルギー別の認定件数 (2014/4～2017/5)

地域	空気熱	バイオマス	地熱	太陽熱	合計	構成比(%)	戸数(千戸)
イングランド	20,445	7,617	6,490	6,443	40,995	73	22,624
スコットランド	5,536	3,698	1,057	1,078	11,369	20	2,370
ウェールズ	1,229	1,059	740	708	3,736	7	1,337
北アイルランド	----	----	----	----	----	----	758
合計	27,210	12,374	8,287	8,229	56,100	100	27,089

1000 戸当たりの認定件数は、イングランドが 1.8 件に対してスコットランドは 4.8 件、ウェールズは 2.8 件と地方の住民の RHI に対する関心の高さが伺えます。特にスコットランドは再生可能エネルギーによる発電が総発電の 42.2% (2015 年) とイングランドの 2 倍もあり、英国の中で突出した環境先進地域でもあります。

4. 住宅向け RHI の再生可能熱エネルギー別発熱量と RHI 支払い件数 (2014/4～2017/5)

再生可能熱エネルギー	発熱量(MwthH)	RHI 支払い件数	平均発熱量(MwthH)
空気熱ヒートポンプ	484,043	26,219	18.5
バイオマスボイラー	929,776	12,627	73.6
地熱ヒートポンプ	263,933	8,209	32.2
太陽熱温水器	27,073	8,466	3.2
合計	1,704,825	55,521	30.7

注) RHI 支払い件数とは、実働している設備の件数。

空気熱ヒートポンプの件数はバイオマスボイラーの 2 倍以上あります。これは空気熱ヒートポンプがスイッチ一つで全自動運転が可能であり、これといったメンテナンスもないのが重宝され、件数が多いのもうなずけます。一方、発熱量では件数が空気熱ヒートポンプの半分のバイオマスボイラーが 2 倍で、長い厳寒期の高温の給湯・暖房需要に対応している状況がうかがえます。

しかし、バイオマスボイラーは、木質バイオ燃料の補給と定期的なメンテナンスが必要であることによる、煩わしさがつきまうことと、インセンティブがヒートポンプに比べて割安なことが、件数がヒートポンプより少ない理由になっていると思われます。太陽熱温水器は、厳寒期の利用率は下がらざるを得ませんが、春から秋口までの、シャワー需要と既存ボイラーの給水温度を上昇させ、ボイラーの省エネ運転への貢献は大きいと思います。

住宅向け RHI は、導入から 3 年が過ぎ認定件数は 56000 件、当初の再生可能熱エネルギー普及の啓蒙にそれなりの成果を上げていると思います。今後、7 年間のインセンティブ受領期間の延長か、また減額傾向のインセンティブとの絡みでどうなるか、推移を見守りたいと思います。(丁)